

福岡県教育委員会では、児童生徒に国語、算数・数学における基礎基本を含む活用力（基礎的・基本的な知識・技能及び思考力、判断力、表現力等）を育むとともに、地域間の学力向上の取組の差を解消することを目的として、平成25年度から小学校5年生～中学校3年生向けの国語、算数・数学の教材集を作成・配布しました。各学校においては、教材集を授業等で繰り返し活用し、取組の改善が図られてきました。

また、平成28年度からは、学力向上に係る検証改善サイクルを小学校中学年から一層計画的に推進するために、小学校4年生向けの教材集を新たに作成してきました。

この度、小学校学習指導要領（平成29年告示）の全面実施を受けて、教材集の改訂を行いました。

各学校では、授業の中だけでなく、朝の学習の時間や家庭学習等における補充・発展問題として活用していただいているところですが、更に、各問題の特質に応じて、先生方の授業づくりや校内研修の際の参考資料としても活用され、基礎基本を含む活用力の向上に役立てていただくことを願います。

令和4年3月

福岡県教育委員会

小学校 国語 六

基礎基本を含む活用力を育成する教材集
～未来への挑戦～

追補版

令和四年三月改訂

目次

1	1 単位時間程度で活用する教材（大問）	
1	おたがいの立場や意図を考えながら話し合おう （話すこと・聞くこと）	29
2	活動を報告する文章の書き方を考えよう （書くこと）	31
3	登場人物の心情や場面の描写をとらえ 自分の考えをまとめよう （読むこと）	33
大問①～③の出題の趣旨・正答について		35～37
2	短い時間で活用する教材（小問）	
1	自分の考えが明確に伝わるように 話の構成を工夫しながら話そう （話すこと・聞くこと）	38
2	自分の意見を筋道立てて話そう （話すこと・聞くこと）	39
3	文章全体の構成の効果を考えて書こう （書くこと）	40
4	目的に合わせ 本や文章などから引用したり図表やグラフを用いたりして書こう （書くこと）	41
5	登場人物の関係や気持ちに気をつけて読み取ろう （読むこと）	42
6	二つの文章を読んで 表現や構成について考えよう （読むこと）	43

小問①～⑥の正答について

44～45

第六学年「めあて」おたがいの立場や意図を考えながら話し合おう。

() (組) () (番 名前) ()

Ⅰ 中村さんの小学校の児童会では、児童会が定めた「今学期の目標」を実現するため、具体的にどのようなことをすればよいかを話し合っています。【今学期の目標】、「話し合いの一部」を読んで、あとの問いに答えましょう。

【今学期の目標】

いつも元気！ 中央小学校

—— 毎日を元気に過ごそう

【話し合いの一部】

<p>中村 (司会) これから話し合いを始めます。この話し合いでは、「いつも元気！ 中央小学校」という目標を実現するために、具体的にどのような活動をするかを決めます。まず、本田さんと山下さんに提案してもらい、それをもとに話し合って、具体的な活動を決めたいと思います。では、最初に、本田さんお願いします。</p>	<p>金子 私は本田さんの提案に㊦です。なぜなら、手軽にできて、目標にかなっているからです。ただ、児童会の役員が毎日立つのは大変なので、学級委員の人たちもふくめて、交代で校門に立つようにしてはどうでしょうか。</p>
<p>本田 私は、「朝のあいさつ運動」を提案します。児童会の役員が、毎朝校門に立って、登校してきた人とあいさつをかわすのです。朝、たがいにすがすがしくあいさつをかわすことができれば、交流も深まり、元気に一日が送れると思うからです。</p>	<p>金子 さっそく、私のクラスの委員に伝えたいと思います。できれば、他の人たちにも協力をたのむつもりです。</p>
<p>中村 次に、山下さんお願いします。</p>	<p>森 ㊧山下さんに質問です。レクリエーションは、毎朝行うのでしょうか。また、全校児童で行うのでしょうか。毎朝、児童全員で行うのは無理だと思うのですが、どう考えていますか。</p>
<p>山下 ぼくは、朝にレクリエーションをすればいいと思います。授業の前にちよつとした遊びをして、たがいにふれ合うことで交流も深まり、一日を元気に過ごすことにつながるからです。</p>	<p>金子 毎朝でなくてもよいですが、全校児童で行いたいと思っています。学校全体の目標なので、全員で行わなければ意味がないからです。週に一回、あるいは月に一回でもよいので、無理のない計画を立てればよいと思います。</p>
<p>中村 本田さんと山下さんから提案がありました。本田さんはあいさつ運動、山下さんはレクリエーションという案です。二人の案はちがっていますが、㊦㊧ことによって㊨を深め、そのあと</p>	<p>中村 他人はどうでしょうか。㊩山下さんの提案について、他に何かありますか。</p>

問1 司会の中村さんは、話し合いの参加者から出た意見を次のようにメモしています。【話し合いの一部】の①に入る言葉を書きましよう。【話し合いの一部】の中の①・②・③にも同じ言葉が入ります。〔話し合い〕

○提案

↓本田さん
・あいさつ運動——毎朝校門に立ってあいさつする。

↓山下さん
・レクリエーション——授業前に、ちょっとした遊びをする。

金子さん
本田さんの案に④。

学級委員の人たちもふくめては？

共通点＝朝に活動をする
ことで、①を深め、
一日を元気に過ごせ。

問2 森さんが山下さんにした質問⑤には、どのようなねらいがあると考えられますか。次のア～エから一つ選び、記号で答えましよう。

ア 意味のわかりにくかった言葉について、再度の説明を求めている。

イ 提案の理由をたずねている。

ウ 具体的に述べられていなかったことをくわしく知ろうとしている。

エ 他の人の提案についてどう考えているのかをたずねている。

①

②

③

④

⑤

問3 司会の中村さんは、話し合いをスムーズに進めるために、どのような工夫をしていますか。次のア～エのうち、中村さんがしていたことを二つ選び、記号で答えましよう。

ア 話し合いのテーマと大まかな進め方を最初に説明すること。

イ 話し合いの流れから外れた発言に、注意をあたえること。

ウ 提案について、簡単にまとめて確かめること。

エ 自ら提案を行い、話し合いを活発にすること。

問4 ①山下さんの提案について、他に何かありますか とありますが、この言葉のあと、あなたが話すとしたら、どんな質問をしますか。次の条件に合わせて書きましよう。

〈条件〉

○ ① ちよつとした遊びの部分にかかわる質問にすること。

○ 質問が提案の内容からはずれていたたり、すでに説明していることをたずねたりしないようにすること。

①

②

《コラム》—— 司会上手になるために ——

話し合いをスムーズに進め、実りのあるものにするには、司会が重要な役割をこなっています。司会の工夫には、次のようなものがあります。

- ・ どんなテーマで、どのように話し合うのかを最初に示す。
- ・ 発言を簡単にまとめたり、整理したりする。
- ・ 発言が話し合いの流れから外れないように注意する。

第六学年「めあて」登場人物の心情や場面の描写をとらえ、自分の考えをまとめよう。

3 山本さんは、次の文章を読んで、登場人物の気持ちや場面の様子などについて考えています。文章を読んで、下の問いに答えましょう。(句読点等は字数に数えること。)

ケンと剛は二人で山に登っていたが、ケンがねんざをして動けなくなった。ケンは、剛に、朝日岳を越えて山荘へ行き、「ユウ兄」たちにこのことを知らせようとしたのだ。剛は一人で朝日岳に向かった。

剛が朝日岳目ざして登っていくのを、ケンはいつまでも見続けていた。

最初の岩が積み重なっていると、ケンはいつまでも見続けていた。あとはふつうの山道だ。両側は草地で、ところどころ、背の低いかん木がはえている。さえぎるものがないので、ケンがかしてあげたライトブルーのセーターを着た剛のすがたは、いつまでも見えていた。あの山道を登っていった先は、また岩場だ。大きな岩のかたまりの上で、きつと朝日岳の山頂だ。

⑦ 剛は、たった一度ふり返ったあとは、もう二度と後ろを見ることはなかった。で、さるだけ早く行こうと、急いでいるのだ。

あたり一面に、きょう名前をおぼえたばかりの濃いピンク色のシモツケソウが咲いている。オレンジ色の小さいユリも咲いている。あのうすむらさき色の鐘のような形の花は何ていう名前だったか。

草地には、剛が好きそうな花がたくさん咲いていた。けれど、剛はきつと、今はそんなものには目もくれずに、歩を進めているにちがいない。

きょう、④山登りについてきてくれて助かった、とさつき剛にもいったけれど、それは今のケンの本当の気持ちだった。自分より二つも年下の小学四年の剛を一人で帰らせるなんて、ものすごく心配だった。でも、今は剛だけがたよりだ。

きょう中に、ユウ兄に知らせてくれれば、あしたの朝には、きつとユウ兄が来てくれる。

本当は、今みたいにかっこ悪いところを、ユウ兄に見られたくはなかった。こんなところでねんざなんかして、何やってるんだとおこられるかもしれない。実際に、何をいわれてもしかたがないことを、きょうぼくはしてしまったのだ。

ケンは、自分がなさけなくて、ため息をついた。

ライトブルーの点は、上へ上へと動いていったが、最後の岩場にかかると、岩にまざって見分けられなくなった。ふと気がつくとき、あたりには昼間の明るさはなく、わずかず夕方方の気配がし始めていた。

() (組) () (番) (名前)

問1 山本さんは、この文章の登場人物を、次のようにまとめました。① ② ③ ④ ⑤ ⑥ に入る言葉を、文章中からぬき出しなすう。

- 剛……小学校①年生
- ケン……剛より二つ②

①

②

問2 山本さんは、この文章が、一行空きによって三つの場面に分かれていることに気づき、それぞれの場面について次のように整理しました。① ② ③ ④ ⑤ ⑥ に入る人物の名前を、文章中からぬき出しなすう。

第一場面	① <input type="text"/> の視点からえがいている。 ※ ② <input type="text"/> が朝日岳を登っている。
第二場面	③ <input type="text"/> の視点からえがいている。 ※ 「ライトブルーの点」 ④ <input type="text"/> のすがたが小さくなっている。
第三場面	⑤ <input type="text"/> の視点からえがいている。 ※ ⑥ <input type="text"/> が山道を歩いている。

④ <input type="text"/>	① <input type="text"/>
⑤ <input type="text"/>	② <input type="text"/>
⑥ <input type="text"/>	③ <input type="text"/>

いつまでも朝日岳を見上げていてもしょうがない。そんなことより、明るいうちにやるべきことをしてしまおう。

まず雨具の上をぬいだ。下に着ていた半そでTシャツは、汗か雨でかなりしめつていた。でも、ぬぐのはやめ、リュックから長そでのシャツを出してTシャツの上に着た。ついでにタオルを出して、雨具の上着の内側と外側をふいたあと、ふたたび着こんだ。今でも少し寒いのが、そんなかつこうでは、夜になつたら、ますます寒くなるだろう。ほかに何かないかとリュックをさぐると、しきものがあつた。タオルでしきものをふいて、体に巻き付けてみた。少し寒さがやわらいだ気がした。

それから、剛がくれたクッキーを食べ、リンゴをかじつた。そして、すぐに口に入られるようアメをポケットに入れた。寒くなつたときには、アメをなめよう。

その後は、ただすわっているしか、やることはなくなつた。ケンには、あしたの朝までここで過ごす長い時間のことを考えて、また、ため息をついた。

剛は、一人で山荘まで帰りたくなかつた。一人で山道を歩きたくなかつた。一人で歩いていこうに、暗くなるなんてことは、考えたくもなかつた。

そのことが少しでも頭にうかぶと、もう今すぐにでも、ケン兄のところにかげもどりたくなる。

でも、一度だけふり返つたとき、周りに、山しか見えない斜面で、ケン兄がぼつんと一人ですわっているのが見えた。なんだか、小さく見えた。いつもは、二歳年上の大きいお兄さんだと思つていたのに、さつきはそういう風には見えなかつた。

きつとケン兄だつて、夜真つ暗な中で、あんなところにずっといるなんてこわいだろう。こわくてたまらないだろう。ふだんとはちがうケン兄の顔を、剛は思い出していた。

あのとときケン兄は、きょうついでにきてくれて助かつた、といつた。剛は、ずっとだれにもないしょにして山登りについてきたことを、悪いことをしたと思つていた。悪いけれど、どうしても山登りをしたくて、来てしまつたのだ。自分の足がおそかつたせいで、カミナリが来る前に帰れなかつたとも思つていた。

それなのに、いっしょに来てくれて助かつた、といつてくれた。剛はその言葉がものすごくうれしかったので、一人でユウ兄たちに知らせるといふ役目をはたすんだと決心した。それからは、もうふり返るのをやめた。

(三輪裕子「あの夏、ぼくらは秘密基地で」)

問3 山本さんは、このお話を人にすすめる文章を書くために人

物の心情について考えたことを次のようにまとめています。
 ①「ケン兄は、このお話を人にすすめる文章を書くために人物の心情について考えたことを次のようにまとめています。③は、十字以上二十文字以内で書きましよう。」

②「剛は、たった一度ふり返つたあとは、もう二度と後ろを見ることがなかつた」

このときの…
 ケンの思い || 剛は、急いでいるのだ。
 剛の思い || ケン兄も①のだろう。↓自分

④「山登りについてきてくれて助かつた」

この言葉について…
 ケンの思い || 剛だけがたよりだ。
 剛の思い || ものすごく②。

◎同じ場面について二人の視点からえがくことで、ケンが剛をたよりにし、一方、③ことがよく分かる。

①	②
③	④

《まとめよう》

★あ、うに入る言葉をから選びましよう。

人物が話しているあなどを除いた、ふつうに述べられている文をいという。いを語り進める人をうという。

地の文 会話文 語り手

大問1～3の出題の趣旨、正答

□ P 29・30

1 出題の趣旨

○ 互いの立場や意図を考慮しながら、話し合いを進めることができるかどうかをみる問題である。学校生活において、目標を実現させるための具体的な活動について話し合っている場面を設定した。司会の役割にも注意させながら、学校生活をよりよいものにするため建設的に話し合う力を身につけさせたい。

2 正答について

問1

○ 正答

ア (例) 朝に活動を行う ④ 交流 ⑤ 賛成

○ 解説

異なる二つの提案の中から共通点を見出し、整理するという設問である。提案の理由として、朝に活動すること、「交流」が深まり、「元気に一日が送れる」「一日を元気に過ごすことにつながる」と話していることに注目させる。(第三学年及び第四学年 話すこと・聞くことオ)

問2

○ 正答

ウ

○ 解説

質問の意図をとらえさせる設問である。山下さんの提案について、森さんは「毎朝、児童全員で行うのは無理だ」と考えているが、山下さんはその点を具体的に話していない。このことを聞き出そうとしている。

(第五学年及び第六学年 話すこと・聞くことエ)

問3

○ 正答

ア・ウ

○ 解説

司会の工夫をとらえさせる設問である。司会の中村さんは、何について、どのような流れで話し合うのかを最初に説明している。また、二人の提案のあとで、それを簡単にまとめている。

(第五学年及び第六学年 話すこと・聞くことオ)

問4

○ 正答

(例) 山下さんの提案に質問です。一年生から六年生までが行うものとして、具体的にどのような遊びを考えていますか。

○ 解説

互いの立場や意図を考慮したうえで、話し合いの流れに沿って発言するという設問である。正答の条件としては、まず、質問なのか付け足しの意見なのかを明確にすることが必要である。また、発言が提案の内容から外れていたり、すでに説明していることを尋ねたりしないように注意する。

(第五学年及び第六学年 話すこと・聞くことエ)

1 出題の趣旨

○ 調査の結果などをふまえて、活動を報告する文章を書けるかどうかをみる問題である。委員会活動について、一学期の活動を報告する場面を設定した。調査の結果を適切に引用したり、事実と意見・感想を区別したりしながら、構成を工夫して報告書をまとめる力を身につけさせたい。

2 正答について

問1

○ 正答

活動計画

○ 解説

まとまりごとの内容が明確になるように、適切な見出しをつけるという設問である。①③が、「一学期の活動計画」であることに注目させる。

(第五学年及び第六学年書くことイ)

問2

○ 正答

(例) 四月には、一日平均六十人が図書館を利用していた(二十三字)

○ 解説

調査の結果を引用して、事実を適切に述べるといふ設問である。空欄に続く部分に五月以降の利用者数が書かれているので、四月の利用者数を書けばよいと分かる。

(第五学年及び第六学年書くことエ)

問3

○ 正答

イ

○ 解説

構成の工夫をとらえさせる設問である。1のまとまりで述べた活動計画①③について、それぞれに見出しを立てて項目を分け、その内容を報告している。

(第五学年及び第六学年書くことイ)

問4

○ 正答

(例) 図書館の利用者数を増やすため、おすすめの本をしょうかいしたり、貸し出しが多い本を発表したりする活動に取り組みたいと思う。(六十字)

○ 解説

調査や話し合いの結果をふまえて考えたことを、適切に書くという設問である。アンケート調査で要望が多かったのは「おすすめの本をしょうかいする」「貸し出しが多い本を発表する」ということなので、これらの活動に取り組みむことで、図書館の利用者数の増加を図るといふ内容が書ければよい。

(第五学年及び第六学年書くことウ)

1 出題の趣旨

○ 場面の様子や登場人物同士の関係に注意しながら読み、人物の心情について読み取ったことをまとめる問題である。ここでは、同一の場面を二人の別の人物の視点から描写した物語を提示した。人物の言葉や行動について、二人の人物が互いにどう思っているのかに注意して読ませたい。

2 正答について

問1

○ 正答

- ①…四 ②…年上

○ 解説

登場人物の設定について読み取る設問である。ケンの視点から描かれている場面では剛のことを「年下」、剛の視点から描かれている場面ではケンのことを「年上」と表現しているため、混乱しないようにさせた。 (第五学年及び第六学年読むことイ)

問2

○ 正答

- ①…ケン ②…剛 ③…ケン ④…剛 ⑤…剛 ⑥…剛

○ 解説

視点人物が移り変わっていることに注意して、場面の様子をとらえるという設問である。それぞれの場面の最初の一文に注目させて、視点人物をおさえさせる。第二場面は、「ライトブルーの点」という表現が、第一場面の「ライトブルーのセーターを着た剛のすがた」をふまえた表現であることを着目させる。 (第五学年及び第六学年読むことイ)

問3

○ 正答

- ①…こわい (こわくてたまらない) ②…うれしかった ③…(例) 剛も自分の役目をはたそうと決心した (十七字)

○ 解説

登場人物の心情をとらえてまとめるという設問である。まず、㉠のときや㉡の言葉に対する剛の思いが、第三場面に書かれていることに気づかせる。そして、一人で残されたケンが心細さを抱えながら、剛だけのために待っていることと、剛がそうしたケンの思いを察して、自分にかげられた期待を意気に感じ、自分の役目を果たそうと決意していることを読み取らせる。 (第五学年及び第六学年読むことエ)

《まとめよう》
あ 会話文 い 地の文 う 語り手

第六学年【めあて】自分の意見を筋道立てて話そう。

() (組) () (番) (名前) ()

② 中央小学校の児童会では、卒業生にインタビューをして、その様子を児童会新聞の記事にすることになりました。そこで、児童会の役員が、インタビューする卒業生を一人ずつすいせんすることにしました。西川さんがすいせんのために作った【メモ】と【原稿】を読んで、下の問いに答えましょう。

【メモ】

すいせんする人 ——— 田中みさきさん

ア
・高校二年生
・北町在住

・陸上競技の長距離の選手

理由

イ
・有望選手として注目されている。
・私たちがはげみになる。

ウ
兄の応援に行つて見かけた。
↓独走でゴール。一位。
その姿にあこがれた。

エ
雑誌にも取り上げられた。
「長距離界期待の星」
「将来の日本代表候補」

【原稿】

私は、インタビューする卒業生として、田中みさきさんをすいせんします。田中さんは、高校二年生で陸上競技の長距離の選手です。すいせんする理由は、

田中さんの活躍ぶりは、陸上競技の雑誌にも取り上げられています。雑誌には、「長距離界期待の星」「将来の日本代表候補」という文字がありました。田中さんが、いかに注目されているかがわかります。

田中さんのインタビューは、きつと興味をもってもらえるはずですよ。

問1 【原稿】の①に入る言葉を、【メモ】イの内容を、「すいせんする

理由は、」に続けて一文にまとめて書きましよう。

問2 西川さんは、【メモ】アウエのうち、ウの内容を【原稿】に書きま

せて。その理由を説明した次のA・Bに入る言葉を、あとのから選んで書きましよう。

Aにもとづく感想にあたるウの内容を取り上げず、Bを示すエの内容にしぼったほうが、説得力があると考えたから。

細かい数値 自分の体験 自分の主張 他者の評価

A B

問3 西川さんは【原稿】を見直し、②に次の文を入れることにしました。その目的として適切なものをあとから一つ選び、記号で答えましよう。

大人のほうがよいという意見もあるかもしれませんが、しかし、田中さんは私たちが一年生のとき六年生でした。そんな身近な存在で、立派な成績を収めている人の言葉は、きつとみんなに届くでしょう。

- ア 反対意見を予想したうえでさらに反論し、説得力を増すため。
- イ すでに述べた内容を再び取り上げ、自分の意見を強調するため。
- ウ 自分が考えた他の候補よりもすぐれている点を述べるため。
- エ 自分の意見に賛同する人がすでにいることを示すため。

第六学年「めあて」文章全体の構成の効果を考えて書こう。

() () 組 () () 番 名前 ()

③ 小川さんが書いた【意見文A】【意見文イ】を読んで、下の問いに答えましょう。(句読点等は字数に数えること) 【意見文ア】

私は、先日、中央公園に行きました。中央公園は緑が豊かで広大な公園です。色とりどりの花がかざられ、鳥たちも集まってきて、歩いているだけでさわやかな気分になれる場所です。しかし、残念なことに、園内のごみ箱にはごみがあふれていました。歩いているとどうしてもごみが目に入ってしまう、さわやかな気分が台無しになってしまいました。こうなるのは、園内の至る所にごみ箱があるからではないでしょうか。ごみ箱があるから、気軽にごみを捨ててしまうのです。その結果、ごみがあふれて美観をそこねてしまいます。ですから、公園のごみ箱はなくすべきです。

【意見文イ】

- ① 私は、と考えます。
- ② なぜなら、ごみ箱があると、気軽にごみを捨ててしまい、ごみがあふれて美観をそこねてしまうからです。
- ③ ごみ箱がなければ、ごみを捨てられないので困るといふ人がいるかもしれません。しかし、公園のようにいろんな人が集まる所では、一人一人が捨てるごみの量は少なくても、すぐに大量のごみの山になってしまいます。本来、人が集まる公共の場所では、ごみは捨てずに持ち帰るものではないでしょうか。
- ④ 私は、公園からごみ箱をなくし、ごみを持ち帰ることを徹底するべきだと思います。

問1 小川さんは、【意見文A】を書いたあとでこれを見直し、意見を最初に述べるのがよいと考えて、【意見文イ】のように書き直しました。に入る言葉を、十字以上、十五字以内で書きましょう。

問2 【意見文イ】の③段落は、【意見文A】にはなかった内容です。この内容を付け加えたのは、なぜだと考えられますか。適切なものを次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 自分の意見を実現するための具体的な方法を説明することで、説得力を増すため。
 - イ 資料などで調べてわかった客観的な事実を付け加えることで、説得力を増すため。
 - ウ 自分の意見の理由となる事がらを、全く別の観点から付け加えることで、説得力を増すため。
 - エ 予想される反論を取り上げたうえで、それに対する自分の考えを述べることで、説得力を増すため。
- 問3 【意見文A】の第一段落には小川さんの体験談が書かれています。小川さんは、【意見文イ】にもこの段落を入れ、意見の根拠にしたいと考えました。どこに入れるのが最も適切ですか。次から一つ選び、記号で答えなさい。

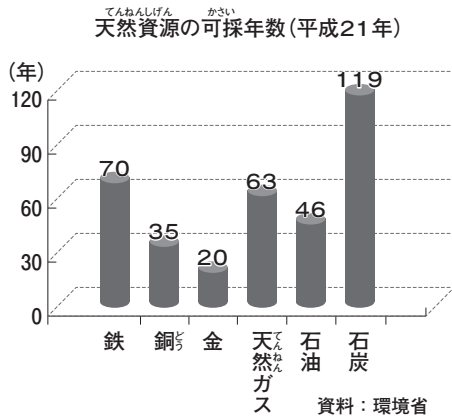
- ア ①段落と②段落の間。
- イ ②段落と③段落の間。
- ウ ③段落と④段落の間。
- エ ④段落のあと。

第六学年【めあて】目的に合わせて、本や文章などから引用したり図表やグラフを用いたりして書く。

4 児童会では、【資料】(環境省「こども環境白書2014」)より。一部表記を改めたところがあります。

【資料】(環境省「こども環境白書2014」)より。一部表記を改めたところがあります。

■「循環型社会」を目指して
金属や石油といった天然の資源は、人間がつくり出すことができないので、限りがあります。左の【グラフ】のように、このまま毎年同じ量を使い続けると今世紀中に取りつくされてしまう可能性があります。そこで、資源をくり返し利用して、ごみを減らし、なるべく新しい資源を使わない「循環型社会」をめざす必要があります。



【グラフ】(天然資源の可採年数)

スリーアール
■「3R」という考え方
今、循環型社会をめざすために「3R」を進めようという考え方が広がっています。

スリーアール
進めよう！ 3R

○3Rとは？

リデュース Reduce	ごみになるものはなるべく使わないなど、使う資源の量や出るごみを減らすこと。
リユース Reuse	㊦
リサイクル Recycle	空き缶を新しい製品の材料として使うなど、資源として再び利用すること。

○3Rは何のため？
3Rは、資源をくり返し利用して、ごみを減らす、循環型社会をめざすためのものです。

○なぜ循環型社会をめざすの？
天然の資源には限りがあり、今世紀中に取りつくされてしまうおそれがあるからです。

○私たちに何ができる？
環境省の「こども環境白書2014」では、例えば、私たちが勉強で使うもののリサイクル例として㊦。身近なことから始めましょう。

【ポスター】(進めよう！3R)

- リデュース
Reduce：使う資源の量や出るごみを減らすこと
- ・ごみになるものはなるべく使わない。
 - ・壊れにくく、丈夫な製品を買い、長く使う。
- リユース
Reuse：ものをくり返し使うこと
- ・リターナブル容器を使う。
 - ・いらなくなったものはすぐ捨てずに、人にあげたり、リサイクルショップに売ったりする。
- リサイクル
Recycle：資源として再び利用すること
- ・資源としてまた使えるもの(空き缶や牛乳パックなど)をごみとは分別して集め、新しい製品の材料として使う。
 - ・再生紙でできたノートなど、リサイクルされた製品を使う。

() 組 () 番 名前 ()

問1 【グラフ】を【ポスター】の中に取り入れるとしたら、どの項目のところに入れるのが適切ですか。次のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 3Rとは？
イ 3Rは何のため？
ウ なぜ循環型社会をめざすの？
エ 私たちに何ができる？

問2 【ポスター】の㊦に入る言葉を、【資料】をもとに、具体例を挙げて書きましょう。

問3 【ポスター】の㊦に入る言葉を、【資料】(環境省「こども環境白書2014」)からの引用で、あることがわかるように書きましょう。

Blank area for writing answers to Question 3.

第八学年「めあて」登場人物の関係や気持ちに気をつけて読み取ろう。

() (組) () (番 名前) ()

5 池田さんは、次の文章を読んで、登場人物の関係や気持ちについて考えました。文章を読んで、下の問いに答えましょう。(句読点等は字数に数えること。)

「あーあ、よかったねえ、お友だちがこんなに書いてくれて」

おばあさんが嬉しそうに言った。僕たちを見て、にこにこ笑って何度もお辞儀をして、ベッドの上に投げ出したガンリユウの脚を軽くさする。

「タカコちゃん、よかったねえ、お友だちもみんな応援してくれてるねえ、がんばって早く良くなるとねえ……」

ああ、ガンリユウはタカコっていうんだ、と――あたりまえのことなのに、胸がどきんとした。「ガンリユウ」は六年二組だけのあだ名で、家に帰れば「タカコちゃん」で、この病院でも「ガンリユウ」なんて呼ぶひとは誰もいなくて、だからもうガンリユウは僕たちとは別の世界にいて、二つの世界は、もう交わることはないのだろうか。

ガンリユウは、じっと色紙を見つめていた。寄せ書きの一つ一つを、ゆっくりと読んでいた。なにもしやべらない。顔をこっちに向けることもない。長い沈黙の時間が流れた。雪が降り積もるように、うつむいた僕の首筋に沈黙の重みがじわじわとのしかかる。

「タカコちゃん……タカコちゃん、よかったねえ……いいものもらったねえ……早く良くなって、みんなと遊ばないとねえ……」

おばあさんの声は涙交じりになった。よかったねえ、と泣きながらガンリユウの脚をさすりつづける。パジャマのズボンの裾がめくれた。向こうずねが見えた。棒つきれみために痩せた脚だった。

ガンリユウは黙ったまま、まだ色紙のメッセージを読んでいる。何度か肩を大きく上下させて深い息をつき、そのたびに、頬が少しづつゆるんでいた。

(重松清「ひこうき雲」)

問1 池田さんは、登場人物の整理をする中で、「ガンリユウ」が「タカコちゃん」とも呼ばれていることに気づき、そこから読み取れることを次のようにまとめました。①②③に入る言葉を、文章中からぬき出しましょう。

「ガンリユウ」：①だけのあだ名。家や病院でそう呼ぶ人はいない。
 「タカコちゃん」：家での呼び名。この場面では、②がそう呼んでいる。
 「僕」の思いはガンリユウはもう③にいて、二つの世界は交わらないのか。

① ② ③

問2 池田さんは、「頬が少しづつゆるんでいた」という表現に注目し、国語辞典で「頬がゆるむ」という言葉の意味を調べました。そして、国語辞典の記述を参考にガンリユウの気持ちを考えて、次のようにまとめました。□に入る言葉を、ガンリユウの気持ちの変化とその理由がわかるように「応援」という言葉を使い、四十字以上五十字以内で書きましょう。

【池田さんのまとめ】

【国語辞典の記述】

ほおがゆるむ (かわいく思ったり、うれしかったりして) にこにこする。

○ガンリユウの様子
 「じっと色紙を見つめていた。
 寄せ書きの一つ一つを、ゆっくりと読んでいた。」

← 「まだ色紙のメッセージを読んでいる……頬が少しづつゆるんでいた。」

感想 ガンリユウは、色紙を読んで、□ののではないか。

第六学年「めあて」「二つの文章を読んで、表現や構成について考えよう。」

() (組) () (番 名前) ()

6 松村さんたちは、環境問題について調べているうちに次の二つの文章を見つけ、その文章について話し合っています。これらを読んで、下の問いに答えましょう。
【文章①】

地球上の生物はおたがいに食べたり食べられたりしながらお互いの栄養素となり、新しいからだをかたちづくっています。これが食物連鎖です。「食べる／食べられる」の関係は、連鎖というより実際にはもっと複雑で、連鎖網といったほうがいいような関係です。

たとえば、植物の葉を草食性の昆虫が食べ、それをカエルや小鳥が食べ、さらにタカ、フクロウ、ヤマネコなどの大型肉食動物が食べます。

(柳澤桂子「いのちと環境」)

※連鎖：「網のようなつながり」という意味で、筆者がつくった言葉。「連鎖」は、「鎖のようなつながり」。

【文章②】

森林を切り開くとどうなりますか。多くの樹木は死んでしまいますね。すると今まで鬱蒼とした木々に覆われて暗かった地面に、明るい太陽光が差し込むようになります。その太陽の光は、それまで地面の中で眠っていた丈の低い草(※一年生草本)の種子を目覚めさせます。また、よそから風や動物によって運ばれてきた種子も、そこで芽吹きます。すると、そこに草原がつくられることになります。しばらくすると、そこには草を餌とする蝶の幼虫やバッタなどが暮らすようになり、さらに、その昆虫を食べる小鳥が姿を見せるようになります。するとどうでしょう。そこには、植物→昆虫→鳥という食物連鎖が生まれました。

(花里孝幸「生態系は誰のため?」)

※鬱蒼：…こんもりとしげる様子。 ※一年生草本：一年でかれる植物。

【話し合いの様子】

「どちらの文章にも『食物連鎖』という言葉が出てくるね。」

「しかも、その例として、植物を昆虫が食べて、昆虫を鳥が食べるということが、両方に挙げられているよ。」

「では、どちらも同じことを述べているのかな。何かちがう気がするけれど。」

「Aは、食物連鎖とは何かを説明したあとで、その例を挙げているけれど、Bは、例を挙げたあとに『食物連鎖』という言葉が出てくるよ。」

「Bは、よく読むと、『食物連鎖』という言葉の意味を説明しているわけではないね。いったい何を説明しているんだろう。」

「Bでは、例の部分に、『A』や『さらに』といった、文と文をつなぐ言葉が多く使われているのが目につくね。」

「わかった。こつちが食物連鎖とは何かを説明しているのに対して、もう一つの文章は、ある場所で①しくみを、例を挙げて説明しているんだ。」

問1 Aとは、【文章①】【文章②】のどちらですか。

□

問2 ⑦に入る言葉を、文章中から三字でぬき出しましょう。

□

問3 ①に入る言葉を、十字以内で書きましょう。

□

小問1～6の正答

【話すこと・聞くこと】

1 正答 P 38

問1 ア

問2 イ

問3 相手の話をきちんとした態度で聞くこと

2 正答 P 39

問1 (例) 田中さんが有望選手として注目されていて、私たちがはげみになると思うからです。

問2 A 自分の体験

B 他者の評価

問3 ア

【書くこと】

3 正答 P 40

問1 (例) 公園からごみ箱をなくすべきだ

問2 エ

問3 イ

4 正答 P 41

問1 ウ

問2 (例) リターナブル容器を使う(いらなくなったものを人にあげたり、リサイクルショップに売ったりする)など、ものをくりかえし使うこと。

問3 (例) 「再生紙でできたノートなど、リサイクルされた製品を使う。」
ということがしよいかいされています。

【読むこと】

5 正答 P 42

問1 ① 六年二組

② おばあさん

③ (僕たちとは) 別の世界

問2 (例) みんなが自分のことを応援してくれていることを知り、だんだんとうれしくなり笑顔になっていった。(四十六字)

6 正答 P 43

問1 文章①

問2 すると

問3 (例) 食物連鎖が生まれる